

1993 年度  
主要業務計劃報告

消 防 本 部

# 報 告 順 序

## I. 基 本 現 況

1. 機構 및 定員 .....	126
2. 主要 任 務 .....	127
3. '93 消防豫算 .....	128

## II. '93 消防施策 推進方向

1. 推 進 背 景 .....	130
2. 基 本 方 向 .....	131

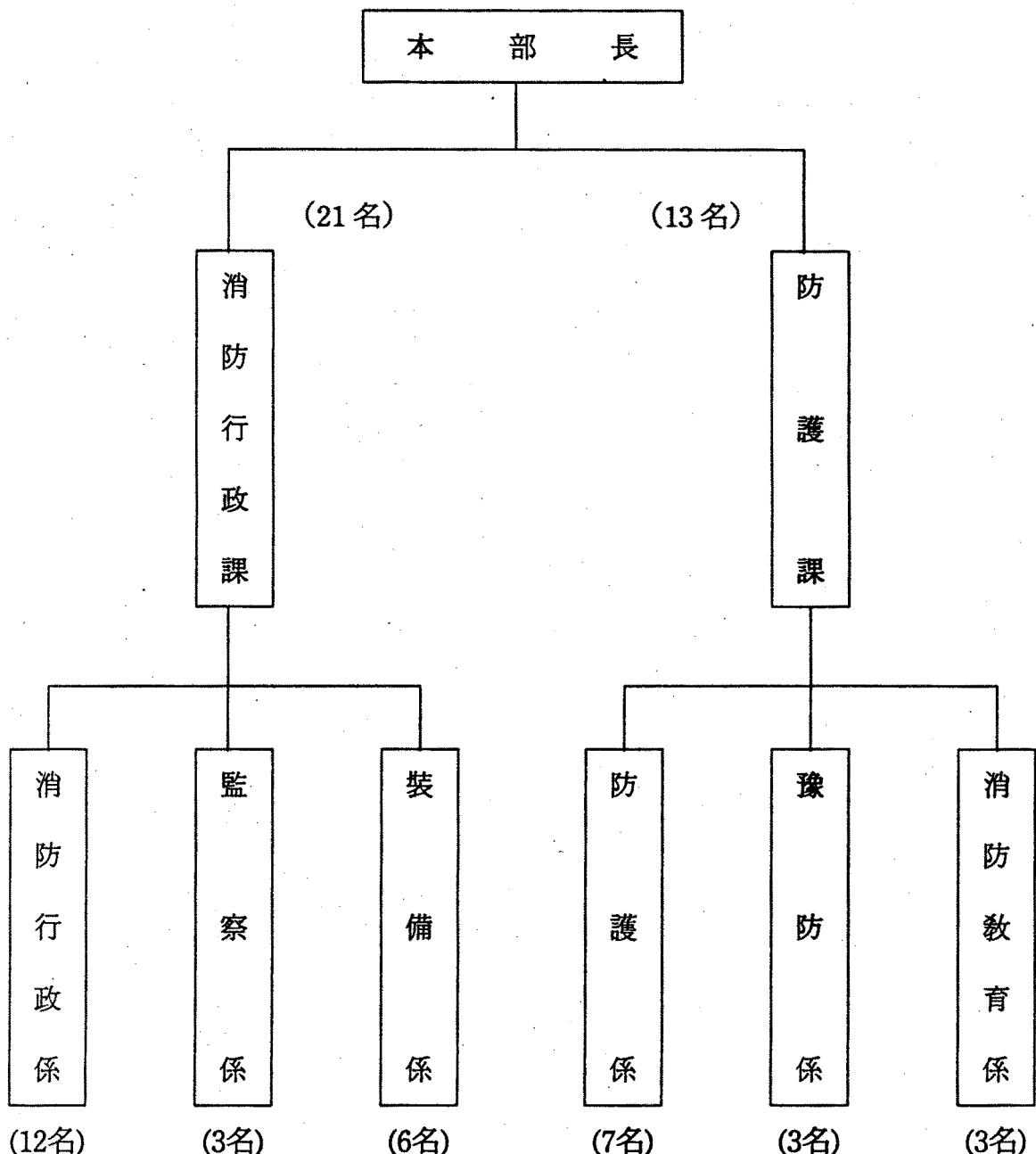
## III. '93 主要 業務 計劃

1. 官署新設 및 廳舍確保 .....	133
2. 消防本部廳舍確保 .....	134
3. 堤川消防署移轉 .....	135
4. 官署運營 定員增員 補強 .....	136
5. 消防裝備의 現代化 .....	137
6. 消防用水 施設 補強 .....	138
7. 消防公職紀綱 確立 .....	139
8. 消防官署 勤務環境 改善 및 厚生福祉 對策 .....	140
9. 對民奉仕 機能의 擴大 .....	141
10. 消防行政의 電算化 .....	142
11. 總體的 產業消防으로 經濟安定 .....	143
12. 在來式 市場 消防安全 對策 .....	144
13. 商街아파트 및 大量 危險物 消防安全 對策 .....	145
14. 義勇消防隊 育成 .....	146
15. 廣域 消防應援 體制 確立 .....	147
16. 火災鎮壓 能力 提高 .....	148

# 基 本 現 況

# 1. 機構 及 定員

\* 1本部 2課 6係 34名



## 2. 主要任務

### 消 防 行 政 課

- 消防行政 基本 運營 計劃 樹立
- 消防官署 設置
- 消防公務員 定員 管理
- 消防關係 法規 制定 采 改廢
- 消防公務員 人事 運營
- 消防裝備 補強
- 消防官署 監查，監察
- 消防豫算 編成 采 執行

### 防 護 課

- 火災鎮壓 基本計劃 樹立 運營
- 義勇消防隊 育成 管理
- 消防用水施設 設置 維持 管理
- 消防 救急，救助 運營
- 火災 豫防 對策
- 消防民願 接受 處理
- 消防公務員 教育
- 民間 消防組織 育成 管理

### 3. '93 消防豫算

〈豫算規模 11,023,737千원〉

#### ○官署別

• 消防本部	3,662,436 千원
• 清州消防署	3,963,165 千원
• 忠州消防署	1,991,344 千원
• 堤川消防署	1,406,792 千원

#### ○費目別

• 人件費	4,774,409 千원(43.3%)
• 官署運營費 및 基本經常費	3,964,714 千원(36 %)
• 經常事業費 및 主要事業費	2,284,614 千원(20.7%)

#### ※道豫算規模對比

○道總豫算	288,722,894 千원
○消防豫算	11,023,737 千원(3.8%)

# ’93消防施策推進方向

# 1. 推進背景

## □ 消防行政需要

- 高層建物의 急速한 增加 — '87年 以後 159個棟 新築
- 邑·面單位 農工團地 造成 — '84年 以後 33個團地 312個 業體 造成
- 火災發生率의 增加 — '86年 對備 143% 增加
- 救急·救助要因의 增加 — 年間 1,800件 發生

## □ 住民 消防安全意識의 變化

- 住民 消防安全 慾求
  - 無關心 → 火災豫防意識 提高
- 廣域 自治消防時代 — 自律化 意識 高調
  - 地域住民
- 地域 利己主義 現象 深化 → 消防受惠 均衡維持 希望
- 施設主
  - 行政의 優越性 認定 → 指導監督 外面

## 2. 基 本 方 向

### 3 代 基 調

奉仕하는 消防, 움직이는 消防, 생각하는 消防



### 消防의 새 역사創造

#### ◇ 消防力의 段階的 捩強

- 消防官署 新設 및 廳舍確保
- 官署 運營定員 增員補強
- 消防裝備 補強 및 現代化

#### ◇ 道民 便益을 위한 奉仕機能 擴大

- 救難·救助能力의 提高
- 消防 救急業務의 專門化
- 對民 奉仕機能의 擴大

#### ◇ 總體的 產業消防의 能力 向上

- 불조심 生活化 運動의 內實化
- 施設主 責任消防 定着
- 火災鎮壓 能力의 培養

### 새롭게變化된 消防文化創出

# **’93 主要業務計劃**

# 1. 官署新設 및廳舍確保

## □ 官署新設 21官署 → 24官署

- 曾坪消防署 新築
  - 豫算投資 : 800,000 千원
  - 建物規模 : 地下 1層, 地上 3層, 延 500坪
- 報恩派出所 新築
  - 豫算投資 : 150,000 千원
  - 建物規模 : 1層, 延 100坪
- 丹陽派出所 増築 및 補修
  - 豫算投資 : 70,000 千원 (增築 10,000千원, 補修 60,000千원)
  - 建物規模 : 2層, 延 90坪 (既存 50坪)

## □ 義勇消防隊 車庫 新・増築

- 槐山郡 沙里面 消防車庫 新築 : 1層 30坪, 47,490千원
- 丹陽郡 消防車庫 新築
  - 佳谷面 : 50坪, 74,325千원
  - 永春面 : 35坪, 52,026千원

## □ 推進日程

- 設計 : '93. 2. 28
- 施工 : '93. 3. 31
- 完工 : '93. 10. 31

## 2. 消防本部廳舍確保

### □ 現　　況

- 韓國自由總聯盟 忠北支部 4層 100坪 貸貸使用
- 貸貸 所要 財源
  - 保證金 : 25,000 千원
  - 月賃貸料 : 800千원
- 事務室 專用 面積 不足 實態
  - 狀況室 및 宿直室·會議室 等 設置 不可
  - 化粧室 및 休憩室·食堂 等 厚生福祉 施設 全無

### □ 廳舍確保計劃

- 清州消防署 3層 一部 및 4, 5 層을 增築 活用
- 增築面積 : 417坪
- 所要豫算 : 653,870千원 → 第1回 追更 確保

### □ 推進日程

- '93年 5,6月 : 1回 追更에 所要豫算 計上
- '93年 6月 : 設計 및 施工
- '93年 10月 : 竣工

### 3. 堤川消防署 移轉新築

#### □ 推進概要

- 現 消防廳舍 處分 및 取得承認 議決 要求 ————— 堤川市 議會
- 消防廳舍 賣却 貸金 專用 敷地 買入 ————— 堤川市
- 新築敷地 永久 無償 貸貸 또는 寄附採納 引受
- 道費 確保 廳舍 新築

#### □ 新築計画

- 位 置 : 堤川市 장락동 山 53-3外 5畢地
- 敷 地 確 保 : 2,000坪
- 建築 延面積 : 700坪
- 建 物 構 造 : 철근 콘크리트 스라브 1/3층
- 所 要 豫 算 : 1,500百萬원 ————— 追更豫算 確保

#### □ 推進日程

- '93年 5月 : 追更 建築費 計上
- '93년 10月 : 設計 및 施工
- '94年 10月 : 完工 移轉

## 4. 官署運營 定員 增員補強

□ 定員增員 550名 → 674名

□ 新設官署 運營定員 44名

- 曾坪消防署 22名
- 報恩派出所 11名
- 丹陽派出所 11名

□ 新規購入 消防裝備 運營定員 80名

- '92 新規購入 消防裝備 23臺 55名
- '93 新規購入 消防裝備 9臺 25名

□ 推進日程

- 所要人員 判斷 : '93. 1. 31 限
- 內務部 承認申請 : '93. 3. 31 限
- 開署(所) 豫定 : '93. 10. 31 限

## 5. 消防裝備의 現代化

### □ 消防裝備 擴充 214臺 → 223臺 (道費 224,100千원 投資)

- 普 通 車 : 4臺 (萬升 1臺, 金加面 1臺, 凤陽面 1臺, 炭釜面 1臺)
- 救 急 車 : 4臺 (鎮川派 1臺, 清州 1臺, 青川 1臺, 伊院 1臺)
- 診 斷 車 : 1臺 (忠州 1臺)

### □ 消防車 未配置 7個 面地域 解消 —— 道費 105,000千원 投資

- 普 通 車 : 3臺 (報恩 炭釜, 中原 金加, 堤川 凤陽)
- 4個面 地域 ————— '94年 未限 購入 配置 完了

### □ 老朽 車輛 代廢車 —— 道費 298,100千원 投資 (9臺)

- 普 通 車 4臺 (鎮川派 1臺, 曾坪派 1臺, 梅谷 1臺, 槐山邑 1臺)
- 救 急 車 3臺 (梧倉 1臺, 槐山邑 1臺, 陰城邑 1臺)
- 물탱크車 1臺 (永同)
- 乘 用 車 1臺 (忠州)

### □ 推進日程

- 仕 樣 書 檢 討 : '93. 1. 31 限
- 調 達 契 約 發 注 : '93. 3. 31 限
- 調 達 購 買 配 置 : '93. 10. 31 限

## 6. 消防用水施設補強

### □ 脆弱地 新設補強：31個所 道費 62,000千원 投資

- 清州消防署 11個所
- 忠州消防署 7個所
- 堤川消防署 2個所
- 永同消防署 4個所
- 郡 7個所

### □ 故障施設 補修： 522個所 — 道費 20,680千원 投資

- 清州消防署 209個所
- 忠州消防署 104個所
- 堤川消防署 66個所
- 永同消防署 34個所
- 郡 109個所

## 7. 消防公職紀綱確立

### □ 消防官署 行政監查

#### ○ 綜合監查

- 期間 : '93. 5 ~ 7月中
- 對象 : 3個 機關 (清州, 忠州, 堤川消防署)

#### ○ 部分監查

- 期間 : '93. 10月中
- 對象 : 1個 機關 (永同消防署)

#### ○ 紀綱監查

- 期間 : 1 ~ 12月
- 對象 : 4個 消防署, 17個 派出所, 4個郡 31個 義消防
- 内容

— 認·許可等 對民關聯 不條理 事項

— 無事安逸 保身主義等 紀綱紊亂 行爲

— 年末年始 火災, 特別 警戒 勤務時

### □ 行政監查結果措置方向

- 非違 行爲者는 물론 監督者까지 連帶 責任制 強化
- 非違 意圖 없이 能動的으로 業務隨行中 過誤는 問責 免除
- 非違者는 原則의으로懲戒委員會 回附
- 行政處理 未熟에 의한 過誤는 訓戒 措置

## 8. 消防官署 勤務環境改善 및 厚生福祉對策

### □ 煖房 施設 改善 ————— 道費 33,800千원 投資

- 義勇消防隊 보일러 交替 : 12個所

### □ 厚生福祉施設 改善 ————— 道費 39,512千원 投資

- 化粧室 改善 : 7個所
- 이불장製作 : 3個 (清州)
- 廚房 炊事器具 購入 : 17種
- 行事用 天幕 購入 : 1組
- 消防雜紙 購讀 : 2種

### □ 消防公務員 子女 奨學金 支給

- 大學 新入生 및 在學生 子女 奖學金 支給
  - 主管 : 消防共濟會
  - 人員 : 3名
- 消防官署別 基金 造成 支給
  - 中·高生 : 3名

## 9. 對民奉仕 機能의 擴大

### □ 119救急, 救助業務補強 – 道費 66,188千원 投資

- 救急業務 擴大運營 13臺 → 16臺
- 119 救助隊 精銳化 (清州) : 特殊訓練履修者 特採補強 5名
- 高速道路 119救急隊 發隊 : 1個隊 (鎮川)
  - 中型救急車 補強 ..... 1臺
- 救急 救助要員 專門教育 : 31名
- 地域特性에 맞는 救助業務 實施
  - 119 山岳救助隊 發隊 : 1隊 (忠州)
    - 國・道立公園 等 山岳地域 人命救助 專擔
  - 119 水難救助隊 擴大 : 2隊 → 4隊 (堤川, 永同)
    - 裝備補強 ..... 4,950千원
    - 水難 人命救助 專擔

### □ 消防民願 奉仕活動 擴大實施

- 民願 消防奉仕
  - 夜間民願室 設置擴大 : 19個官署 → 24個官署
    - 消防民願 및 生活民願 專擔
  - 消防施設點檢, 修理 巡回奉仕隊 設置 : 24個隊
    - 故障施設 無料修理 奉仕
- 民生 消防 自願奉仕
  - 旱害 水害 等 消防裝備 支援擴大 – 地域住民 및 中小企業 重點 支援
  - 各種災難時 非常出動 支援 積極 參與 – 山火 및 災難時 救助救難活動

## 10. 消防行政의 電算化

### □ 電算企劃團 設置

- 構成 : '93. 3月中
- 人員 : 電算關聯 專門教育 履修者 4名
- 運營
  - 消防專用 通信施設 自動化 事業
  - 消防業務 電算化 事業 總括

### □ 消防行政 및 指令業務의 電算化('93~'95) – 追更豫算 確保

- 基本시스템 設計案作成 및 S/W 開發 : '93. 6月末
- 標準 指令臺 設置 : 3臺 → '93. 10. 31限 (本部, 永同, 曾坪)
- PC 設置 및 周邊器機 導入 → '94. 12. 31限 (本部 4臺, 各署 2臺)
- 電算 온라인망 構築 및 示範運營 → '95. 12. 31限

### □ 消防行政 電算裝備 補強 – 道費 25,600千원 投資

- 모사 電送機 (F. A. X) : 4 臺
- 多技能事務機 및 프린트기 : 5 臺
- 비디오 카메라 : 2 臺
- 錄畫機 : 1 臺

## 11. 總體的產業消防으로 經濟安定

### □ 消防檢查制度 改善

- 消防檢查 業所自律檢查 實施 : 年2回, 10,883個所
- 消防公務員 檢查 改善
  - 消防檢查 專擔班 再整備 : 1回 10名
  - 火災豫防 確認檢查並 實施
  - 檢查回數 縮小 : 年 1 ~ 2回

### □ 大型 火災豫防

- 大型脆弱對象 特別管理 : 183個所
- 商街 아파트 消防安全 對策強化 : 10個所
- 消防對象物 精密 診斷 : 10,883個所

### □ 危險物 施設 安全對策

- 危險物 製造所等 精密診斷 實施 : 2,630個所
- 危險物 安全管理者 教育 : 2,000名
- 가스 火災 危險施設 特別點檢 : 446個所

### □ 凡道民 불조심 生活化 運動展開 – 道費 10,500千원 投資

- 불조심 弘報物 製作 : 標語, 포스터등 5種 20,000枚
- 불조심 캠페인 實施 : 22回
- 불조심 啓蒙 教育實施 : 50,000名

## 12. 在來式 市場 消防安全 對策

### □ 現 況

- 在來式 市場：5個所
- 重點 管理市場 現況

市 場 名	店 鋪 數	延面積/層	脆 弱 要 因
清州南州육거리市場	278個所	47,850m <sup>2</sup> 1層	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 火災發生時 燃燒擴大 憂慮</li><li>○ 消防通路內 露店 및 商品積置로 消防車 進入 困難</li><li>○ 商人의 火災豫防意識 未洽</li><li>○ 店鋪別 所有主 分難豆 總括管理 主體가 缺음</li></ul>
忠州 公設市場	56個所	1,511m <sup>2</sup> 2層	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 商人의 火災豫防意識 未洽</li><li>○ 店鋪別 所有主 分難豆 總括管理 主體가 缺음</li></ul>

### □ 推進狀況

- 火災脆弱要因 事前除去
  - 合同 消防點檢 實施 : 2回 334個所
  - 煙房施設 安全措置 : 冬節期 月 1回
- 自衛消防體制 整備
  - 火災豫防教育 : 4回
  - 自律 防火 巡察 實施 : 1日 4名 (冬節期 20:00~ 04:00)
  - 店鋪別 消火器 設置 : 未備置 店鋪 51個所 備置 啓導
- 初期 鎮火 消防施設補強
  - 非常 消火栓函設置 : 5個所 新設
  - 公設 消火栓 追加設置 : 4個所
  - 消防器 保管函 設置 : 2個所
- 初期鎮壓態勢 確立
  - 消防官 固定配置 : 6名 (冬節期 19:00~ 撤市時)
  - 消防通路 確保 : 週 1回
  - 合同 消防 訓練 : 年4回 (民防衛 訓練時 實施)
- 消防弘報放送 및 傳單配布 : 弘報放送 每日 1回, 傳單15,000枚 配布

## 13. 商街아파트 大量 危險物 消防安全對策

### □ 現 況

- 商街 아파트 : 10個所
- 大量 危險物 貯藏 施設 : 8個所
- 爆發性 危險物 取扱所 : 20個所

### □ 推進計劃

- 消防安全施設 基礎資料 一齊調查 : 1回 ('93. 2月 末限)
- 特殊建築物 管理外三 作成 ('93. 3月 末限)
- 合同 消防點檢 : 2回
  - 消防施設 및 防火施設 改修 補完 ('93. 4月 末限)
  - 移動式 石油燈爐 一齊 收去
  - 室內施設 가스 容器 室外 保管所 設置 誘導
  - 故意的 施設補完 忌避 業所 依法 措置
- 自體 防火管理體系 定立
  - 商街 繁榮會 및 住民 自治會 構成 育成
  - 商街 아파트 自體 火災豫防巡察 組編成 運營
- 合同 消防訓練 : 年 2回
  - 商街 아파트 및 大量 危險物 貯藏施設 18個所
  - 都市가스 貯藏施設 1個所
  - 火藥類 製造施設 2個所

## 14. 義勇消防隊育成

### □ 義勇消防隊 組織擴大

- 組織 : 148隊 → 151隊
- 人員 : 4,580名 → 4,640名

### □ 義勇消防隊 運營의 活性化

- 一齊點檢 : 2回 / 4,640名 (2月, 8月)
- 教官要員教育 : 1回 / 131名 (7月)
- 能力評價 : 1回 (9-10月)

### □ 士氣昂揚 對策 - 道費 284,361千원 投資

- 義勇消防隊員 被服支給 : 1,865名
- 子女獎學金 支給擴大 : 206名 → 235名
- 先進地見學 및 產業視察 實施 : 1回 4,640名
- 懇談會 開催 激勵 : 年 2回

## 15. 廣域 消防應援 體制確立

### □ 廣域消防 應援協定 締結 整備

- 消防官署
  - └ 管内 : 4署 4郡
  - └ 管外 : 2道 8市, 郡
- 消防車 保有產業體 - 5個所
- 헬기 保有機關 - 警察航空隊, 陸軍航空隊, 空軍士官學校

### □ 消防行政 管轄區域 調整

- 調整方向 - 消防署中心으로 管轄調整
- 調整計劃 - 5個圈域 設定
  - 清州圈 : 清州, 清原, 報恩, 鎮川
  - 忠州圈 : 忠州, 中原, 陰城
  - 堤川圈 : 堤川市, 堤川郡, 丹陽
  - 永同圈 : 永同, 沃川
  - 曾坪圈 : 曾坪, 槐山

## 16. 火災鎮壓能力提高

### □ 消防官署 教育訓練 強化

- 消防教育隊 設置
  - 鎮川郡 文白面 銀灘里 228-2
  - 敷地 11,058m<sup>2</sup> (建坪 228m<sup>2</sup>)
  - 道費 70,000千원 (追更確保)
- 專擔要員 配置 : 5名
- 各種 教育施設 및 機資材 確保 : 20鍾
- 年間 教育豫定人員 : 3,000名 (職務 및 實技分野)

### □ 自衛 消防組織 育成

- 產業體 消防車輛 點檢補強 : 5臺 (럭키, 大農, 금성일렉트론,  
새한미디어, 韓國火藥)
- 消防裝備操作要員 請願消防員 任用 : 10名
- 職場 自衛消防隊 組織 精銳化 : 1,905個隊 78,533名